

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、形成外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 顎顔面手術における下眼瞼縁へのアプローチ方法としての lateral paracanthal incision の妥当性に関する研究

[研究対象者]

2020年1月～2024年4月までの間に、形成外科にて顔面骨骨折と診断され、形成外科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、術式、臨床写真

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

顔の骨が折れたときに行う手術では、目の周囲に切開を加えて骨にアプローチする必要があります。切開の方法にはいくつか種類がありますが、そのひとつに「lateral paracanthal incision（傍下眼瞼切開）」という方法があります。この方法が、手術後のまぶたの形や外見にどのような影響を与えるかを調べることを目的としています。まぶたの見た目の変化を評価することで、この切開方法が適切かどうかを検討します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年4月30日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水治

研究責任者：東京女子医科大学 形成外科 教授・講座主任 櫻井裕之

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 形成外科 長谷川祐基

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）